

心と体の健康について
(不登校に関する対策について)

令和3年12月21日
北九州市教育委員会

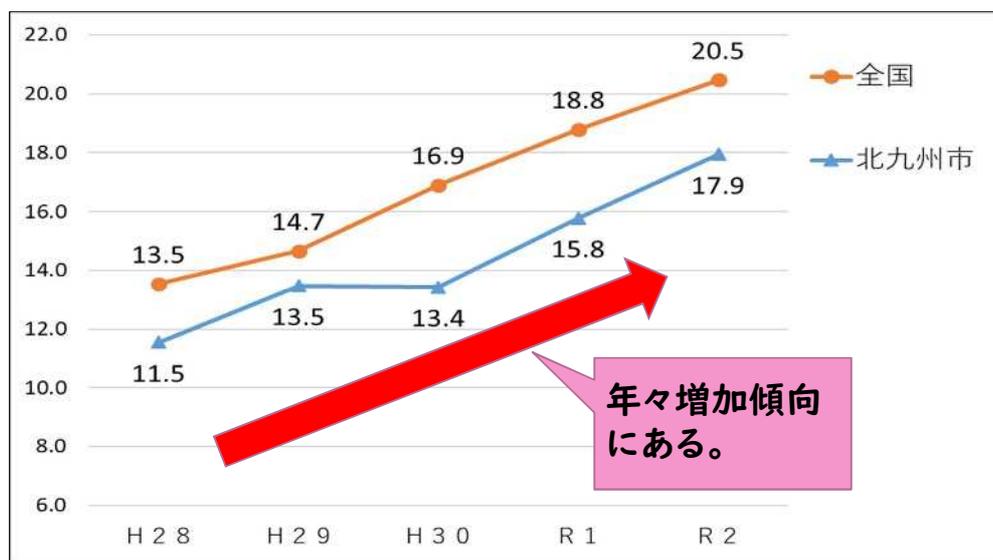
不登校に関する対策について



北九州市教育委員会

1

不登校児童生徒1000人当たりの出現率 過去5年推移(全国・北九州市比較)



2

北九州市不登校等に対する総合的な検討に 関する有識者会議 報告書(令和2年 11月20日)

【基本的理念:社会的自立】

【6つの基本的方向性】

- ① 多様な学び方を提供(適切なアプローチによる支援)
- ② 学力以外の面においても成長を保障する取組の推進
- ③ 家庭を含めた総合的な支援
- ④ 学校全体で組織として対応できる体制の構築
- ⑤ 学校を含めた関係機関の連携強化
- ⑥ 中学校以降のステップへの支援

3

基本的な方向性① 多様な学び方を提供



1人1台端末を活用した 2つのタイプの「オンライン授業」の実施

より多くの児童生徒の「社会的自立」への支援

- (1) 各教科の授業等を配信している「オンライン授業」
- (2) 欠席が長期化している中学生を対象に、教育委員会が工夫したプログラムを配信している「未来へのとびらオンライン授業」

4

未来へのとびらオンライン授業」について

対象者：欠席が長期継続している中学生

- 目的：○ 規則正しい生活習慣への改善につなげる
○ コミュニケーション能力の基礎を身に付ける
○ 学習への興味・関心をもつ

など、「**社会的自立**」を目指す

内容：授業力が優れた教員のチームが工夫したプログラムの授業を発信

「出席の取扱い」について

教育委員会から、授業の内容や出席（参加）の状況等を知らせ、学校長が「出席扱い」としている。

5

未来へのとびらオンライン授業」について

【参加生徒の声】

- 朝の会が楽しい
- 朝眠いけれど、やると達成感がある

など

オンライン授業に参加することを楽しみにしている声

不登校生徒の基本的生活習慣の改善につながっている



【授業配信の様子】

6

基本的な方向性④

学校全体で組織として対応できる体制の構築

不登校対策を中心となって進める

リーダー教員の養成を目的に研修会を実施

研修参加者の声

- 今後の取組に充分生かせると思い、全職員に研修内容を伝え共有した。好評だった。皆、個々が手探り状態で対応しているため、ノウハウを少しでも知ることは大切。チームで作戦を立てられると感じる。

7

基本的な方向性⑤

学校を含めた関係機関の連携強化



フリースクールと教育委員会、学校との

意見交換会を実施

参加した学校関係者の声

- フリースクールと学校の役割は、ケースによっても、その時々によっても変わる。それぞれの役割を果たしていくことが大切である。
- 学ぶ場所は学校だけではない。学校に行けないことが、決してマイナスではないということを学校が訴えていく必要がある。

8

基本的な方向性⑤

学校を含めた関係機関の連携強化



【今後の新たな取組に関する提言】

児童生徒に適切なアプローチが取れるように、本市の組織の在り方について改めて見直し、必要があれば組織改正を行うべきである。

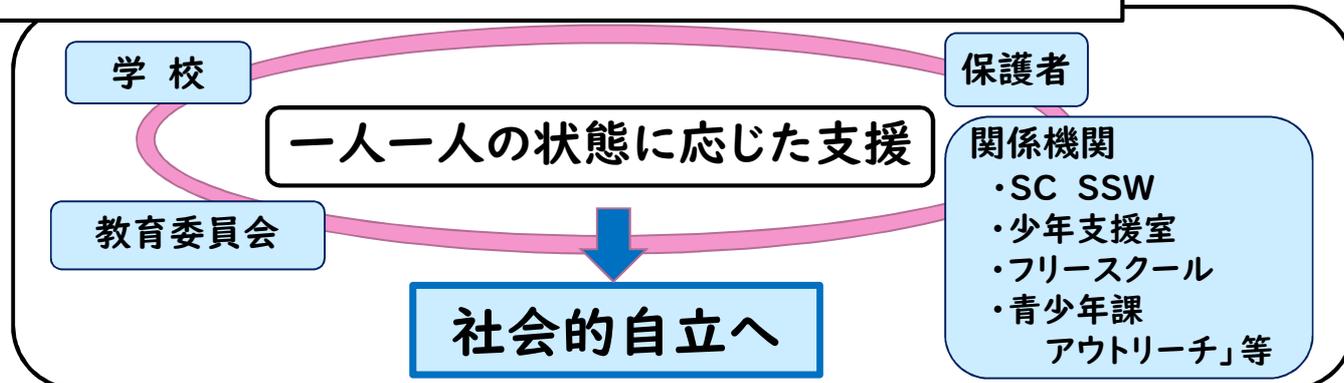
- 学校教育部に不登校担当のラインを置き、主幹職1名を配置
- 「不登校対策プロジェクトチーム」の立上げ
- 体制強化のために必要な組織改正について、関係部局と協議

9

不登校支援に対する考え方

不登校とは、どの子どもにも起こり得ることとして捉え、その行為を「問題行動」として判断せず、多様な学びの機会の保障や居場所づくりなどに努めていく。

不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方



10